



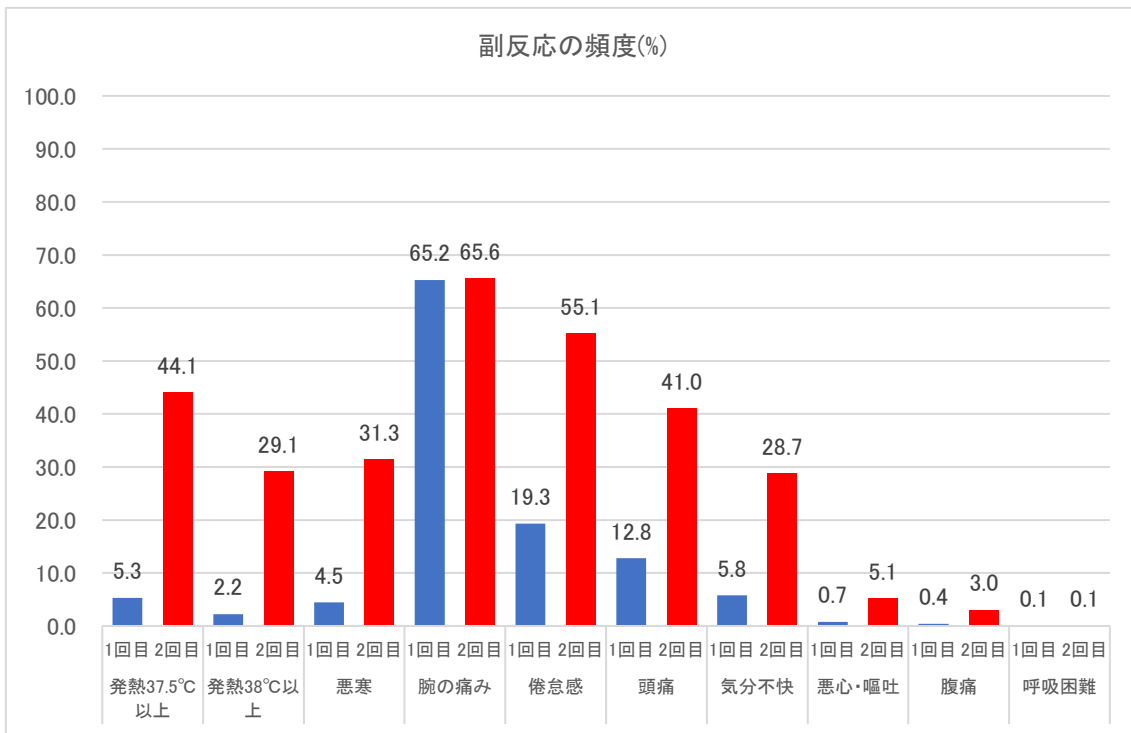
防衛医科大学校

大学生に対する新型コロナウイルスワクチンの 副反応は既報告と大差なし

-学生 938 名に対するファイザー社新型コロナウイルスワクチン(コミナティ)の副反応調査報告-

【発表概要】

防衛医科大学校病院新型コロナウイルス感染症対策本部は、防衛医科大学校に在籍する 18 歳～26 歳の医学科学生および看護学科生 938 名(男性 374 名、女性 564 名)に対し、ファイザー社新型コロナウイルスワクチン(コミナティ)の副反応調査を実施した。副反応の頻度は国内医療従事者約 2 万人を対象とした副反応調査の結果と大差なく、腕・接種部位の疼痛がやや少ない一方、発熱は同程度であることが判明した。特に 2 回目は約半数で解熱鎮痛薬が必要となる程度の副反応がみられたため、2 回目投与翌日までは学生生活への影響を考慮すべきである。



【調査結果】

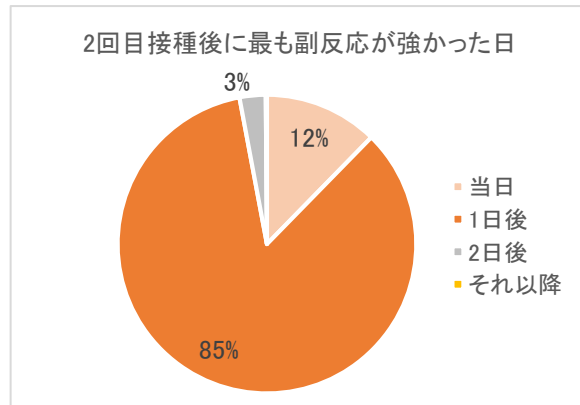
1. 副反応はワクチン投与後翌日までが最も強い。
2. 2 回目投与後は女性の方が 38℃以上の発熱が多く、約半数で解熱鎮痛薬が必要であった。
3. 2 回目の投与後は約 4 割の学生で学業を休むなどの影響があった。



防衛医科大学校

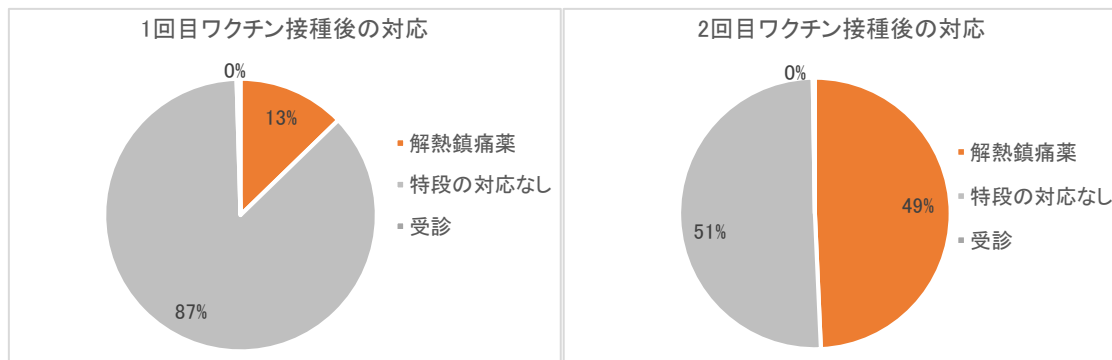
《副反応の最強点は投与後翌日まで》

何らかの副反応が1回目では68.7%、2回目では83.5%にみられた。副反応が最も強かったのは1回目では投与後初日23.3%、投与後翌日74.2%、2回目では投与後初日12.3%、投与後翌日84.7%であり、いずれも計97%以上の被接種者で投与後翌日までに副反応が最強となった。



《2回目投与後は女性の方が38℃以上の発熱が多く、約半数で解熱鎮痛薬が必要》

1回目では解熱鎮痛薬を使用したのは12.7%であったが、2回目では解熱鎮痛薬を使用したのは49.3%にのぼった。女性では男性に比べ38℃以上の発熱がみられる割合が高かった(女性34.9%、男性20.7%)。ただし、医療機関を受診するような副反応はほとんどみられなかった。



《2回目投与後は約4割の学生で学業を休むなどの影響》

1回目では学業を休むなどの影響があった学生は7.9%であったが、2回目では42.7%にのぼった。特に副反応が強く現れる2回目投与翌日までは学生生活への影響を考慮すべきである。





防衛医科大学校

【調査に関する問い合わせ】

防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部 感染対策室長

防衛医科大学校 内科学講座(感染症・呼吸器)

准教授 藤倉雄二

住所: 埼玉県所沢市並木 3-2

E-mail: fujikura@ndmc.ac.jp

【取材に関する問い合わせ】

防衛医科大学校事務局総務部総務課

広報担当 荒武幸助

住所: 埼玉県所沢市並木 3-2

電話: 04-2995-1211(内線 2111)

E-mail: adm018@inet.ndmc.mod.go.jp